

## 平成 27 年度第 2 回 草津市上下水道事業運営委員会

日 時 : 平成 27 年 7 月 30 日 (木) 10 : 00～12 : 00  
場 所 : 草津アミカホール 2 階 研修室  
委員出席者 : 山田委員長、小寺委員、佐野委員、田中文子委員  
田中佳子委員、西谷委員、馬場委員  
欠席委員 : 小竹委員、平井副委員長  
事務局 : 西岡部長、西村理事、川崎副部長、木内副部長、  
田中課長、島田課長、杉本場長、松永G長  
松永G長、勇田主任、西川主任  
委託事業者 日水コン (株) 2 名

(議事要旨)

### 1. 開会

9 名中 7 名の出席により、過半数の出席を得たことを報告し、事務局により開会を宣言した。

### 2. 上下水道部長挨拶

西岡上下水道部長より挨拶

委員の皆さまにおかれましては、公私何かとお忙しい中、ご出席いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本日の委員会では、水道ビジョン見直しと経営計画の見直しについてご審議をお願いいたします。水道ビジョンにつきましては、前回の会議でご意見をいただいた点を中心にご説明させていただき、最終の中間見直し案をお示しさせていただきたいと考えております。また、皆さまにご提案をお願いしておりましたスローガンにつきましても、本日も議論いただきたいと考えております。

そして、経営計画につきましては、財政シミュレーションの結果をご説明させていただきます。

委員の皆さまにおかれましては、専門的な立場、また、使用者の立場から、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくをお願いいたします。

### 3. 前回質問への回答、水需要予測の変更

(1) ロクハ池護岸の耐震工事

事務局より、ロクハ池護岸の耐震工事について写真等を用いて説明した。工事の目的は平成 25 年の台風 18 号による法面崩壊の復旧と風波などによる浸食防止および侵入防止柵の設置であった。

## (2) 水需要側の変更

草津市まち・ひと・しごと創生本部会議において最新の人口予測が 8 月に公開されるため、市の上位計画と整合を図るため、予測の見直しを行った。また、生活用原単位については、草津市内の新興住宅地の生活用原単位を下限値として再度時系列傾向分析を行った点について、事務局から説明を行った。

### ■質疑応答

【委員長】 前回委員会の予測よりも人口が増加すると予測しているがこの原因は何があるのか。

【事務局】 草津市は住みよい街として、社会移動による流入が多い。若い世代の流入もあるため出生率も市内部で見直しを図り、整合性を図った。

【委員長】 人口推計は住民基本台帳を基準にしたものか。

【事務局】 国勢調査を基準にして推計し住民基本台帳ベースへ補正している。

【委員長】 生活用+業務営業用原単位の減少は地下水専用水道の普及も関係しているのではないか。

【事務局】 大口需要者で導入を検討している話は聞いている。ただし、予測値の設定が難しいため反映はしていない。

【委員】 家庭内で井戸を掘った場合の影響はないのか。

【事務局】 井戸使用世帯は 100 戸程度であり給水量予測に与える影響は小さい。

## 4. 議事

議事に入り進行を事務局から山田委員長へ交代した。

### (1) 目標達成状況の確認

事務局より目標達成状況の確認についてスライドを用いて説明した。

### ■質疑応答

【委員】 総合評価を A、B、C ではなく A+、A、B のような表現にした方が良いのではないか。また、達成状況をまとめた表の PDCA の分類は内容に応じて修正が必要ではないか。

【事務局】 市民の分かりやすさを考慮し見直しを行う。

【委員】 口座振替を利用している人はどのくらいいるのか。振替利用が多いのであれば、料金徴収員は増員する必要があるのか。

【事務局】 正確な数字は手元にないが、口座振替は全体の 8 割くらいである。料金徴収員の増員はきめ細かい対応を行い回収率のさらに向上させるためである。

【委員】かび臭から見たおいしい水達成率目標 100%は達成が困難ではないのか。滋賀県企業庁では目標の見直しを考えている。

【事務局】北山田浄水場の緩速ろ過、ロクハ浄水場の高度処理によってかび臭による苦情件数ゼロを目指している。

【委員長】かび臭から見たおいしい水達成率目標はより完璧を目指すという意味も込められているであろう。

【委員】定性的評価の説明は、体言止めをやめ実施中のものと実施済みのものの違いが分かるように表現する方が良い。

【事務局】分かりやすさを考慮し表現を改める。

【委員長】口座振替でない 20%の人のために徴収員を増員するというのは、意見が分かれるところではないか。

【委員】口座振替でない 20%の人を口座振替へ移行してもらえるように、粘り強い努力が必要である。

【事務局】利用者から水道料金をいただかないと事業が成り立たないので、努力していきたい。

【委員長】太陽光発電の導入は断念したということによいか。

→委員からの異議はなし。

## (2) 将来像・目標・主要な施策

事務局より将来像・目標・主要な施策についてスライドを用いて説明した。

### ■質疑応答

【委員】水道に第一に求めるものは安全だと考えている。災害時も高齢者は水をもらいに行くことが難しいので、すみずみまで水道を届けてほしい。スローガンは資料の上から3番目の案がいいと思う。

【委員長】最終的に事務局で選んでいただいてはどうか。

【委員】どの案も言いたいことは共通しているように思う。上下水道部の想いもあると思うので事務局で決めてはどうか。

【事務局】委員の皆さまからいただいた意見をもとに事務局内で意見集約し、早い段階で各委員に提示する。

## (3) 主要な事業の費用

事務局より主要な事業の費用についてスライドを用いて説明した。

### ■質疑応答

【委員】平成 27～33 年度の耐震化に係る費用は前倒しできないのか。

【事務局】可能な限り前倒しをした計画としている。当初計画よりも 2 年ほど早く完了する予定である。

#### (4) 水道ビジョン中間見直し案

事務局より水道ビジョン中間見直し案についてスライドを用いて説明した。

##### ■質疑応答

【委員】ビジョンの表紙は2011年～2021年でよいのか。

【事務局】今回は現行ビジョンの一部見直しであり、計画期間は変更しないつもりである。

【委員】市民には、概要版を公表するのか、それとも本編を公表するのか。

【事務局】概要版でパブリックコメントを実施したい。

【委員】中間見直しであれば新旧の対照が出来るようにした方が良いのではないかと、見直しに至る経緯を記載したほうが分かりやすくなる。

P1の図では上位計画と本市水道ビジョンの関連性が分かりづらい。色づかいも見やすいように配慮を行った方が良い。

【事務局】頂いた意見について内容を可能な限り反映を行う予定である。見直しについてはパブリックコメント段階では、修正部分をまとめた概要版と新旧の対照表など分かりやすい資料を用意する。

【委員】資料2のP12に示す管路更新費用で数値目標を達成できているのか。

【委員】落札時の費用が減る、内容の見直しで費用が増える場合があるものの、目標を達成できるように事業費を見込んでいる。P12の事業量は当初計画との違いが文章に書きこまれていない。

【事務局】補足説明を加えたい。

【委員長】管の口径が変われば費用も変わる。投資額の増加が耐震化率の増加に直結しない場合もあるだろう。

#### (5) 財政シミュレーション

事務局より財政シミュレーションについてスライドを用いて説明した。

##### ■質疑応答

【委員】資本的収支のうち、その他の支出の具体的な項目には何が挙げられるのか。

【事務局】建設改良に係る人件費、システムの導入費などがある。

【委員】給水収益と支出は反比例になっているが見通しとしてはこのままでいいのか、経費節減は考えていないのか。

【事務局】事務の合理化による経費節減を考えている。また、シミュレーション上は人件費を一定としているが、将来的には、人員の合理化による節減も考えられる。

【委員】支出のみで経営が成立するのか判断ができない。

【事務局】今回人口の見直しがあり収入の部分は十分検討が出来ていない状態のため、次回は収入面も含めて提示したい。

【委員】草津市の人口増は全国的に見ても特殊な状態といえる。

【委員長】元金償還が減少している。今後の更新需要の増加に対する財源は次回の中での議論になるだろう。

【事務局】より製品寿命の長い管路を使用することで、減価償却期間と使用期間の差を生み出し、経営をうまく回していこうと考えている。

【委員】駅から琵琶湖方向に布設している管路は寿命が80年の管路なのか。

【事務局】当該箇所は80年の管路（GX管）を敷設している。

## 5. 次回以降の日程について

今回は8月31日から9月2日までの間で調整を考えている。委員の予定を確認の上、後日調整する。

## 6. 理事挨拶

西村理事より閉会の挨拶

本日は、大変お忙しいところ、長時間にわたりご協議をいただき、また、貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

本日賜りました、水道ビジョンの中間見直し案および、経営計画の財政シミュレーション結果に対するご意見等につきましては、見直し、および経営計画に反映できるよう、調整させていただきたいと考えております。

水道ビジョンおよび経営計画につきましては、経営の基本的な取り組みを示した指標であり、今回の見直しにより、刻々と変化する水道を取り巻く社会情勢に対応し、次世代にわたり、より健全で安定した経営を目指してまいります。

次回の委員会では、経営計画について、より深い議論をしていただきたいと思いますと考えております。どうか、委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しいとは存じますが、今後とも引き続き忌憚のないご意見、ご提言など賜りますようよろしくお願い申し上げます。閉会にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

## 7. 開会

事務局より閉会を宣言した。